

令和 7 年度シラバス

教科	保健体育科		科目	体育	単位数	3
学年	1 年生	学科（コース）		普通科		
使用教科書	現代高等保健体育					
副教材等	現代高等保健体育ノート					

1 学習目標と評価の観点の趣旨

学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習課題を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るため資質・能力を育成する。		
評価の観点の趣旨と定期考査の配点基準			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。
	定期考査の配点基準（目安） 実施しない	定期考査の配点基準（目安） 実施しない	

2 学習計画と評価方法

学期	単元	主な学習活動	考査範囲
1 学期	体づくり運動	・ いろいろな条件で歩いたり走ったり跳びはねたりする運動を行う。 ・ 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行う。	
	球技 体育理論	・ 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。 ・ 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開することができる。 ・ スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。	

2 学 期	球技	・ 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開する。 ・ 安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作、連携した守備などによって攻防を展開することができる。	
	体育理論	・ 現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックムーブメントがあることを学習する。 ・ ドーピングはフェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを学習する。	
3 学 期	陸上競技	・ 目標タイムを自己の技能・体力の程度に合わせて設定し、そのタイムをクリアできるよう、スピードを維持して走る。	
	体育理論	・ 現代のスポーツは経済的な波及効果があり、スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていることを学習する。	
各学期の観点別学習状況の評価の方法			
知識・技能＝スキルテスト、ワークプリント			
思考・判断・表現＝動作の分析、記録の結果分析、レポート作成			
主体的に学習に取り組む態度＝参加意欲の観察、計画的に取り組む態度の観察			
学年末の評価			
各学期の成績から算出して観点別学習状況評価と評定を出します。			